

「画期的なアプローチによる放射線計測技術」分科会の進捗状況

《概要》

第 1 回の分科会を 6 月 1 日、新橋で開催した。本会合は、福島リサーチカンファレンス (FRC) の企画打ち合わせを兼ねて実施し、本分科会の主テーマである“放射線計測技術”と共に、機器の耐放射線性、遠隔技術等をテーマとする“ラドスマート技術”に関する 2 つの FRC について、オブザーバーを増やして検討するとともに、CLADS 補助金の公募、及び NEST について紹介した。

《参加者》

放射線分科会：高橋（東大）、金子（北大）、保田（広島大）、木倉（東工大）、熊野（東北大）、鈴木（福島高専）、林、桜木（東電）、坂本（ATOX）、山本（IRID）、鳥居（JAEA）
ラドスマート：浅間（東大）、新井（IRID）、高橋（福島大）、藤川（ATOX）、広瀬（東芝）、中谷（三菱）、木下（日立 GE）、小川（JAEA）
NDF：中島、勝部

《FRC》

下記の 2 つの FRC を 11 月 26、27 日に富岡町「学びの森」で開催し、1 日目は合同で一般公開とし、2 日目は原則別セッションでクローズドとする。

1. “Rad-smart Technology for Nuclear Decommissioning”.(廃炉のための放射線スマート技術の展望) (仮題)

原子力過酷環境下での遠隔作業の効率化や、機器の耐放射線性向上を目指すには、ロボット、センサー、放射線計測、半導体、拡張現実、機械学習といった多分野の連携が必須である。これらの技術の将来像を異分野の専門家間で共有することを目的とした会議を開催する。

2. “International Conference on Radiation Measurements for Decommissioning of the Fukushima Daiichi NPP”.(1F 廃炉のための放射線放射線計測技術)

2016 年 8 月に開催した第 1 回の放射線計測 FRC の第 2 回として位置付け、国内外の放射線計測に関わる研究者が会して、廃炉に係る放射線計測技術の現状と研究開発課題について議論する場として開催する。

《その他》

- ・ 平成 30 年度「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業」(CLADS 補助金) の公募について
- ・ OECD/NEA の Nuclear Education, Skills and Technology (NEST) プロジェクトについて